

# 校長室通信 12月

12月  
December

令和7年12月1日  
羽咋市立羽咋中学校  
校長 宮下 裕樹  
第8号

## 冬の訪れを感じる頃となりました

毎年11月中旬頃に、今冬の寒さや雪の量などの情報を教職員と共有し、「冬の準備」を促すようにしてきました。その参考となるのは、長期予報であり、とりわけ「エルニーニョ現象」「ラニーニャ現象」の有無がそのカギを握っていることはよく知られています。エルニーニョは太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなる現象で、暖冬傾向。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続ければラニーニャと呼ばれ、寒冬傾向となります。今年は、12月は、赤道付近の海水温が低く、ややラニーニャ現象寄りの状況のよう、12月は比較的寒く、積雪もあるとの予報が出されています。生徒たちにおいては、手袋やマフラーなどの冬支度と共に、日没の時刻が早くなり、下校時の交通事故等が心配されます。ご家庭におかれて、交通事故に注意するよう交通安全についてお話を聞いていただけると幸いです。

さて、今学期を総括すると、生徒たちは日々の授業を大切にして落ち着いて学習に取り組み、その内容の定着については、一定の成果が見られたと思っています。また、学校生活や行事を通して一人一人が成長したことを実感しています。期末テストは終わりましたが、12月に入り、本当の意味で、生徒たちは、「自らに力が付いたのか」を問われ、その答えを示す時期がやってきました。3年生は、予定されている3回の地域学力調査や私立入試を経て、3月の公立の学力検査へと向かっていきます。また、1、2年生においては、今月に実施される県評価問題を始め、学力調査等で力が付いたかを検証していくことになります。学校としても、十分ではなかったことを明確にして、生徒たちと共有しながら指導を充実させていきます。同様に、部活動においては、新チームになってからの個人やチームの状況を分析し、弱点克服に向けた冬季の練習を大切にしてほしいと思っています。生徒たちの頑張りに期待しています。

一時期は大変心配されたインフルエンザも、今は落ち着き、罹患者もほとんどいない状況になりました。年末年始にかけては、人混みの中での活動も想定されますが、健康に留意すると共に、家族団らんの充実した時間を過ごしていただきたいと思います。皆さま、よいお年をお迎えください。

※12月27日（土）～1月4日（日）の期間の緊急な連絡は、22-1135まで連絡をしていただければ、担当者に転送されます。

## 栄光の足跡

### ○赤羽萬次郎賞

地域貢献 岡田吟弥  
新聞感想文 優秀賞 木村 楚

### ○石川県「家庭の日」川柳コンクール

佳作 本吉 瑠花 橋場 仁南

### ○羽咋市ファミリーふれあい短歌作品コンクール

優秀賞 岡野 羽那 坂本 薫是 古迫 世名 道井さとか

### ○羽咋市家族川柳作品コンクール

優秀賞 石野 緒実 日下 愛 寺西 琉杏 中野 蒼仁 釜井 莉玖 幸田 蓮大  
酒井 悠志 向山こひろ

### ○石川県児童生徒俳句大会

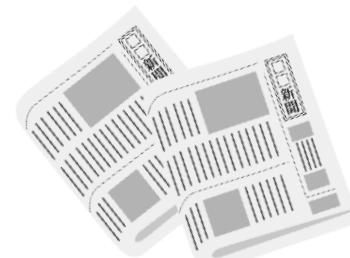
佳作 北村 翔星  
入選 青山 蕉花 原田 美菜

### ○人権作文コンテスト石川県大会

北陸放送賞 中山日代里



冬将軍到来!!



○税についての作品

作文の部 石川県納税貯蓄組合連合会長賞 永原こはね  
羽咋市長賞 栄 真結子  
七尾閑税会長賞 片桐 風大

○「社会を明るくする運動」作文コンテスト

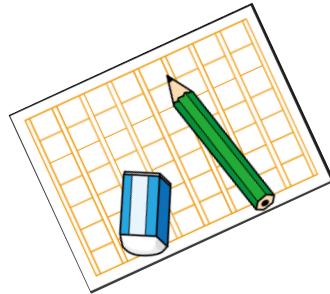
石川県更生保護女性連盟会長賞 梅川 紗奈

○第71回石川県読書感想文コンクール

優良賞 西浦 彩月

○中部日本個人重奏コンテスト石川県大会

金賞県代表 本多 愛奈 金賞 飯田 陽向



○管打楽器ソロコンテスト北陸大会

銀賞 本多 愛奈 銅賞 山岸 由菜 吉田 心 飯田 陽向



○全能登新人大会（能登地区中学校体育連盟関係）

※ 駅伝、剣道競技を含めたすべての結果は、近日中に本校のホームページに掲載します。

○石川県中学校新人弓道大会

団体 1位 北出 岳朋 川淵 大翔 川淵 大嗣  
個人 1位 北出 岳朋 4位 川淵 大翔

○羽咋都市弓道選手権大会

男子中学生の部 個人 2位 三沢 和輝 3位 川淵 大翔  
女子中学生の部 個人 1位 岡山 梨咲 3位 二谷 莉白

○能登地区中学校選抜バレーボール大会

1位 本吉慎之介 岡田 凌和 室井 隆希 中多 悠真 貞金 凪都 岩谷 亮良  
中川 瑛斗 野口 雄心 新屋 仁都 新田和之進 中山 公耀 中村 浩唯

○石川県弓道選手権大会

男子中学生の部 2位 北出 岳朋 敢闘賞 川淵 大嗣  
女子中学生の部 2位 坂井 美果

□外部団体所属の競技等

・RUNUP JAPAN ALL AGES DANCE CONTEST 2025 HOKURIKU 1位 野口陽菜乃



## 学校内外の行事から

### ★選挙出前講座（11/6）

羽咋市選挙管理委員会の方々に来ていただき、実際の選挙と同じ形式で投票することを体験しました。羽咋市長模擬選挙という設定で模擬投票を行うというものです。受付、投票用紙交付係、投票立会人などはすべて生徒がその役割を担いました。3年後に選挙権を得る3年生にとっては、主権者教育の一環としての貴重な体験となっていました。



### ★市小中合同音楽会（11/14）

コスモアイル羽咋の大ホールで行われた今年の音楽会は、2年生が合唱コンクールの課題曲「時の旅人」を披露しました。川田莉唯紗さんの指揮、谷内珠乃さんの伴奏による全員合唱は、ホール全体に美しいハーモニーを響かせることができました。全員が心を一つにした歌声は、会場の小学生や保護者の方々から惜しみない拍手をいただきました。最後は、本校吹奏楽部が「スタジオジブリの名曲集」を演奏し、音楽会を締めくくってくれました。



### ★東大セミナー（11/18）

2年生を対象に、「ドラゴン桜」監修の西岡壱誠さんによる特別授業を実施していただき、勉強することの意味について考える機会をいただきました。西岡さんからは、勉強するのは自分の豊かな将来のためであるとの熱いメッセージをいただきました。

### 編集後記

主観的であり、人によって意見が分かれるところですが、最も美しい日本語の言葉は、「ありがとう」や「さよなら」であると聞いたことがあります▲私たち教師が指導の際には、表情や身振り手振りはもちろんのこと、最も大切なのは言葉であると自覚し、これまでもやってきました。言葉を挙げればキリがないのですが、似て非なるものの例を少々紹介します。叱るー怒る、見守るー放任、指導ー指摘、理由ー言い訳、区別ー差別、慎重ー臆病、自己主張ーわがままなど▲美しい日本語の響きを感じながらも、その言葉のニュアンスの違いを理解して、これからも生徒たちに向き合っていきたいと思います。（宮下）

### ★租税教室（11/20）

七尾税務署の方2名が来校され、3年生を対象とした租税教室を実施していただきました。社会科の公民分野での学習に加えて、「税」の意義とその重要性について実感し、将来どのように税と関わっていけばよいかを学ぶ有意義な時間となっていました。

